市内中学生作成の野田市のＰＲ動画が
全国広報コンクールで佳作に

公益社団法人日本広報協会が実施する「令和７年全国広報コンクール」で、市内在住の文岡千春（ふみおか ちはる）さん（高校２年生）が当時 15 歳の中学３年生だった令和５年度に作成した野田市ＰＲ動画「あそぼう野田市」が、映像の部で佳作を受賞した。

文岡さんは、「子どもたちが野田市を訪れたいと思えるような動画」をコンセプトに、得意なダンスで市内の見どころを紹介しようと、姉の文岡小春さん（大学 2 年生　当時高校３年生 18 歳）と友人の瀬能日奈多さん（高校３年生　当時高校１年生 16 歳）と一緒に、市内の施設やイベントを訪れ、野田市出身のシンガーソングライター、ナオト・インティライミ氏提供の野田市応援ソング「The Day」に合わせ、オリジナルダンスを織り交ぜながら、エンターテイメント性豊かな動画を作成した。特に終盤には、令和４年 10 月に開館したのだしこども館 supported by kikkoman を舞台に、文岡さんの呼びかけによって集まった約 30 名のキッズダンサーと息のあったダンスを披露する場面もある。

同コンクールの千葉県選出作品審査会では、「ダンスという要素が加わり、肩肘を貼らずに各地の名所を見ることができる作品。中高生ダンスチームが案内役となる設定もよく、音楽もあっていた。」と高評価を受け、10 作品の応募の中から、千葉県代表に選ばれていた。

市では、現在も、このＰＲ動画を市ホームページや YouTube、Facebook などのＳＮＳ、市役所１階のデジタルサイネージ、各種イベントなどで紹介している。
なお、本ＰＲ動画作成当時には、野田市応援ソングを提供したナオト・インティライミ氏本人にもご覧いただいたところ、大変喜んでいただいていた。

【タイトル】　あそぼう野田市
【時　　間】　６分 40 秒
【動画作成のきっかけ】
中学校の「ボランティア活動による地域貢献」という課題で、野田市の応援ソングと特技であるダンスを活かした形で、野田市のＰＲ活動を作成し、地元である野田市に貢献したいと思ったことがきっかけ。文岡さんから市のＰＲ推進室に相談し、市は中学生らしい発想やＳＮＳでの発信を意識した企画に賛同し、撮影地の提案や各施設との撮影調整をする形で、動画作成に協力した。
【撮影場所】
こうのとりの里、イチョウ通り、野田市市民会館、県立関宿城博物館、関宿滑空場、江戸川河川敷運動場、清水公園、江戸川サイクリングロード、もりのゆうえんち、グリコピアＣＨＩＢＡ、雪印メグミルク、御用蔵醸造所、キッコーマンもの知りしょうゆ館、千葉県豚肉向上委員会会長新田八之助、ホワイト餃子野田本店、のだしこども館 supported by kikkoman（児童センター）
【制作者プロフィール】
氏　　名：文岡　千春（16）野田市岩名在住
所属学校：昌平高校（撮影当時は昌平中学校）
ダンス歴：12 年（別紙参照）

問合せ＝野田市ＰＲ推進室・直通 04-7199-2090

野　田　市